

佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 地方創生推進交付金事業 効果検証シート

2020（令和2）年_効果検証

地方創生推進交付金事業 実績シート①

事業名	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト（市事業名：「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト）												
担当課	スポーツ立市推進課	事業実施年度	平成 28 年度～ 令和 2 年度	佐野市まち・ひと・しごと 創生総合戦略基本目標の該当	安定したしごとをつくる 新しい人の流れをつくる	実施方法	担当課						
事業の概要	日本ではマイナーだが、世界ではサッカーに次ぐ世界第 2 位の競技人口を誇るグローバルスポーツ「クリケット」をまちづくりの核として活用し、さまざまな取り組みを行う。そして、整備した国際クリケット場へ多くの誘客を図り、ここを拠点とした人の交流を生み、ここから新たな仕事づくりへとつなげていく。					予算状況	<table border="1"> <tr> <td>総事業費（千円）</td> <td>99,809</td> </tr> <tr> <td>交付金額（千円）</td> <td>49,904</td> </tr> <tr> <td>一般財源（千円）</td> <td>49,905</td> </tr> </table>	総事業費（千円）	99,809	交付金額（千円）	49,904	一般財源（千円）	49,905
総事業費（千円）	99,809												
交付金額（千円）	49,904												
一般財源（千円）	49,905												
重要業績評価指標 (KPI)	指標名称		令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	達成状況の説明								
	KPI①	クリケットタウンを通じた地域内での創業件数	15 件	2 件	まちなか拠点を整備する合同会社の設立（市外からの転入者）								
	KPI②	外国人宿泊数	1,741 人	1,577 人	国際大会、外国からのクリケットツアー訪問があったが目標値には到達できなかった。								
	KPI③	クリケット場入場料	9,000 千円	0 千円	クリケット場ほかにおいて、有料イベント未実施のため								
	KPI④	クリケット関連産業を通じた域内消費増額	107,200 千円	55,437 千円	参加者 11,748 人 3,137 泊（JCA 調べ）								
活動状況	<p>①プロモーション イベント）インフィオラータ、二子玉川ライズイベント、小冊子制作マーケティング）SBI カップ時アンケート実施、エンバシーカップ時校舎リノベ関心事業者への説明会実施</p> <p>②旧田沼高校校舎活用検討 リノベーションプラン検討、都市計画法上の手続き手法確定</p> <p>③インバウンド インド（ムンバイ）プレスカンファレンス、旅行代理店営業</p>			主な効果		<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントでは、テレビ、新聞等各種メディア露出も多く一定の周知効果があった。 校舎活用検討においては、さまざまな条件を整理したうえで、とるべき手法を規制緩和された用途変更が最適と決定した。 インド旅行代理店から、本市クリケット場を含めたファムツアーに協力の意思を確認できた。 							
取組の検証	改善余地の検証	・平成 30 年度、令和元年度の本プロジェクトの運営では、民間から採用した地域価値創造マネージャーを活かした進展を図ったところだったが、結果的には校舎の活用への取組に寄りすぎたところがあり、本事業の KPI 向上につながる事業展開が不足した。											
	今後の方針について	・市の事業方針と KPI 目標を明確にし、プロポーザルにより事業者を選定し委託業務により事業を推進する。 本市の関わりを強化し、受託業者とともに KPI に直結する事業展開を図る。											

地方創生推進交付金事業 効果検証シート①

事業名①	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト		
事業評価		□ 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
	2人	□ 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
	7人	□ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
	7人	□ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
委員 意見欄	<p>「クリケットタウン佐野」は市民に全く支持されていない。 / これをこのまま継続すると、相当大きな金額が必要だと思う。大企業が全部支援するなら別だが、今までの方向だといつまでたっても無理だと思います。</p> <p>原点に戻って、市民が簡単に、手軽に遊べるクリケットをつくり（3角ベースボール、少人数のバレーボール）、市民がクリケットを楽しむことを考えてほしい（市民の支持を考えてほしい）。 / 市民がクリケットを支持しないとイケない。 / クリケットで地域活性化するイメージが足りない。 / 市民をもっと巻き込んだほうが良い。コロナ禍出なければ、大いにインバウンドで盛り上がり期待できた事業であった。 / 市民の認知度が低いので、周知度の指標が必要ではないか。</p> <p>地元地域住民のため、わかりやすい発信を！ / 低学年の学童、生徒への組み入れ強化。</p> <p>佐野市のアイデンティティ形成、シビックプライドの醸成につながる意義のある取組である、市民の支持、関心を喚起することを考慮する必要があるのではないか。</p> <p>市民のクリケットの認知度が低い。</p> <p>クリケットというスポーツがあるということは、市民にも認知されてきているが、まだまだ不十分です。例えば、市教委とも連携し、小中学生の教育活動の中で、クリケットというスポーツを体験させることも有効ではないでしょうか。</p> <p>全国にクリケットのまちとして認知されるものは、まず市民への認知度を高める必要があると思います。</p> <p>基盤（設備）整備は整ったことで、次はクリケットをいかに浸透させるかが今後の課題。</p> <p>いかに市民に支持されるスポーツになるか、知恵の絞りどころだと思います。</p> <p>インドなどでは、メジャーなスポーツでも日本ではマイナーなもの。これをいかに競技人口増加、観戦客を増やすか、大きな壁がありますが、始めたものは最後まであきらめずチャレンジしていきましょう。 / 潜在的価値は大いにあると思われるので、今後の対応に期待したい。</p> <p>各委員の意見のとおり、佐野市民への認知や参加を高めることが必要。 /</p> <p>市民の認知度、理解を得て、クリケットに来た方をもてなせるようにならなくては、効果に結び付かないのではないかと。</p> <p>残念ながら市民の目に見える効果がなかった。これまでの反省や市民の声を活かし、最終年度を迎えてほしい。 / 台風、コロナの状況もあって、評価が難しい。</p> <p>こういうプロジェクトはすぐに結果が結びつくものではなく、KPIだけで評価すべきではない。とくに市単独でなく、協力して進める必要があることも評価を困難にしている。</p> <p>クリケットは外国での評価が高いので、グローバルな視点をどう評価するかも必要であろう。 / いずれにしても地道な取り組みを継続することは求められる。</p> <p>※(株)セレスポについて、良いイメージがない（イベント屋） / マネージャーの退任、及び新委託業者について、市民に全く説明がない。</p> <p>市民を味方につけないと、新事業者が事業を行っても、理解し応援が得られないと思う。</p> <p>セレスポの委託期間が今年度末まで、クリケットカフェも3月までということで市民感情が心配である。</p>		

地方創生推進交付金事業 実績シート②

事業名	「地方で輝く」を見つけるしごとの移住プロモーション事業（市事業名：移住・定住関連情報PR事業）							
担当課	総合戦略推進室	事業実施年度	令和元年度～ 令和3年度	佐野市まち・ひと・しごと 創生総合戦略基本目標の該当	安定したしごとをつくる 新しい人の流れをつくる	実施方法	直営	
事業の概要	<p>「佐野ら一めん」をコンテンツとして、移住・修行・開業までをトータルコーディネートする仕組みを確立し、飲食業に興味を持つ移住希望者を対象とすることでターゲットを明確にし、目的を持った移住者を確実に獲得する。</p> <p>飲食業に興味を持つ移住希望者を獲得し、移住者の新規創業という夢を実現する手助けをする事業であるが、佐野ら一めん店を現に経営する方を講師として修業するものであるため、佐野ら一めん業界が現在抱える店主の高齢化による後継者不足の問題に対し、マッチングを図ることもできる。</p>					予算状況	総事業費（千円）	7,099
							交付金額（千円）	3,549
							一般財源（千円）	3,550
重要業績評価指標 (KPI)	指標名称		令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	達成状況の説明			
	KPI①	本事業を活用して本市に転入した移住世帯数	5世帯	2世帯	本プロジェクトにより、本市に移住し、佐野ら一めん店を創業することの実現性を認識し移住した世帯がある。			
	KPI②	本事業に参画する企業・団体数(団体)	10団体	11団体	本事業について、市内の商工・金融をはじめとした団体・企業に呼びかけた結果、積極的な参画を得ることができた。			
	KPI③	本市への移住相談件数	74件	307件	本プロジェクトについてホームページやメディア等を通して全国向けに周知したところ、目標を大幅に上回った。			
	KPI④	本市への転入者数	3,500人	3,562人				
活動状況	<p>8～10月：本事業を推進するにあたり、本市への移住とラーメン店創業を支援する仕組みづくりのために、プロポーザル方式による受託事業者の選定を行った。</p> <p>10～3月：本市へ移住とラーメン店創業をトータルコーディネートする組織（以下、支援組織）を設立及び事業を始動させるため、本事業の概要を公表したほか、参加を希望する方へのリサーチなど調査・準備を行った。</p> <p>3月：新年度の本格的な移住者受入ための支援組織を設立した。</p>			主な効果		<p>本事業の概要を発表したことで、テレビなどで報道された。事業の本格的な始動の前に、本プロジェクトへの関心の高さが伺えた。事業主の高齢化問題などに対する事業継承といった社会的課題の解決に対し、日本政策金融公庫や地元銀行、商工団体等が関心を示したことから協力体制を築くことができた。</p>		
取組の検証	改善余地の検証	初年度は事業の本格始動に向けた準備を行った。今後の本格稼働により各KPI等を改善する。						
	今後の方針について	2年目となる2020年度は、本プロジェクトへの参加を希望する者を募集し、ラーメン店創業のための基礎研修と本格的な修行を行う。併せて住居の斡旋をはじめ移住に関する総合的な支援も実施する。また、支援組織の自走化に向けた実績の積み重ねを行い、収益性や課題を検証する。						

地方創生推進交付金事業 効果検証シート②

事業名②	「地方で輝く」を見つけるしごとの移住プロモーション事業		
事業評価	2人	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
	10人	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
	4人	<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
		<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
委員 意見欄	<p>「佐野ら一めん」ブランドを維持するため、後継者としてやっていただける人をマッチングしてやることは、とても大事であると思います。これからだと思います。継続が大切だと思います。長期スパンで臨んでほしいと思います。</p> <p>「佐野ら一めん」ブランドを持続可能にする取り組みとして、意義があると思われるが、移住・転職という人生の一大転機にも関わることになるので、成果を性急に求めず、希望する人に寄り添った対応が重要ではないか。</p> <p>本市への転入者数が3,500人と多いと感じる。</p> <p>素晴らしい事業だと思います。持続可能なラーメン店が増えてくると市民にもうれしいです。</p> <p>佐野名物の維持拡大及び生活基盤である仕事の提供（収入確保）を何とか成功させていただきたい。そして、ラーメン以外にも事業を拡大させることで、住みやすさの向上にもつなげられるようになっていただきたい。</p> <p>東京に人口集中するように、収入を得る場の確保が人口増加につながり、インフラ整備の基礎となるものと考えており、もっと力を入れてほしいと思います。</p> <p>効果が上がっているが、用は今後どうなるのかでは。美味しいラーメン屋は残るが、まずいラーメン屋は残れない。</p> <p>事業承継と移住を絡めた施策は新味があるもの。</p> <p>佐野を代表する食べ物として、継続して取り組んでほしい。</p> <p>話題性だけで終わらせず、持続的な事業に育ててほしい。</p> <p>佐野ら一めんの修行には時間がかかるのでは（納得した味を出していくためには）。</p> <p>面白い取り組みだと思いますので、温かく見守れるか、支えられるかだと思います。</p> <p>移住と仕事と一緒にすることは頼もしい。</p> <p>期待値を込めて。</p> <p>出店する店舗があるのであれば、周りの若い店舗（ラーメン以外）や協会などとのコミュニケーションで、さらに盛り上がると思う。</p>		

地方創生推進交付金事業 実績シート③

事業名	「佐藤さんゆかりの地」聖地化による関係人口増加プロジェクト（市事業名：「佐藤さんゆかりの地」聖地化プロジェクト事業）							
担当課	総合戦略推進室	事業実施年度	令和元年度～ 令和3年度	佐野市まち・ひと・しごと 創生総合戦略基本目標の該当	安定したしごとをつくる 新しい人の流れをつくる	実施方法	直営	
事業の概要	<p>全国に200万人いるとされる「佐藤さん」を対象に、佐野市にそのルーツがあるとして「関係人口」を募る仕組みを設け、地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する。</p> <p>「唐沢山城跡」を佐藤姓の聖地と位置付けるとともに、伝統工芸「天明鋳物」を佐藤姓と同じ由緒をもつものとして、様々な事業を展開していくことで、「佐藤さんのふるさと」として関係人口を獲得するとともに、「ふるさと納税」や「企業版ふるさと納税」による財源を確保し、「佐藤さん組織」の自立的運営により唐沢山城跡と天明鋳物の再興も推進する。また、移住・定住の促進に結びつける。</p>					予算 状況	総事業費（千円）	11,737
	交付金額（千円）	5,868						
	一般財源（千円）	5,869						
重要業績評価指標 (KPI)	指標名称		令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	達成状況の説明			
	KPI①	佐藤さん組織の会員数	1,000人	259人	佐藤の会を3月10日（佐藤の日）に設立し、募集を開始した。			
	KPI②	観光入込客数	8,910,000人	8,575,000人	台風19号による水害などの影響を受け目標値を下回る結果となった。			
	KPI③	本事業に賛同する方の寄付金、賛助金等の額	0円	0円				
	KPI④	本事業に賛同し、企業版ふるさと納税を行う意思を表明した企業・団体数（3年目以降）	0団体	0団体				
活動状況	<p>3月10日に佐藤の会を発足した。</p> <p>当初は都内で記者を招いての会見を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、動画配信での発表を行った。</p> <p>また、同日から、佐藤の会会員の募集を開始した。</p> <p>とちぎテレビの「U字工事の旅！発見 佐藤さんのふるさと佐野」（前・後編）が3月19日・26日の2週に渡って放送され、他県ネットワーク局においても放送された。</p>			主な効果	<p>3月10日の佐藤の会発足の動画配信により、全国の佐藤さんやその関係者から会員申し込みが約20日の間に165人となった。</p> <p>今まで一般的に知られていなかった佐藤＝佐野の藤原が全国に向けて発信された。</p>			
取組の検証	改善余地の検証	佐藤の会としての磨き上げと、佐藤さん受け入れ態勢の構築を図り、今後の会員数獲得につなげていく。						
	今後の方針について	佐藤の会活動の磨き上げによる会員獲得（佐藤姓の方を対象とした呼びかけの継続や、佐藤を称する企業への働きかけ、グッズ作成、地元組織おもてなし隊の設立など）するとともに、オンラインイベントなど（佐藤さんサミット等）の開催を検討中。						

地方創生推進交付金事業 効果検証シート③

事業名③	「佐藤さんゆかりの地」聖地化による関係人口増加プロジェクト		
事業評価	1人	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
	4人	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
	9人	<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
	1人	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
委員意見欄	<p> どういう風にやっていたら効果的かよく考えていきます。 これも継続が大切だと思います。単純明快なもので、わかりやすい事業を行うことで成果が出ると思う。 もっとメディア戦略が大切だと思う。 面白い事業だと思う（ほかの団体と協働できる事業） 市民への周知をもっとしたほうが良い。 スタートしたばかりですが知恵を絞りながら、前向きに発信していきたいです。 NHK等で取り上げていただきありがたく思います。9/3「日本人のおなまえ」の件、市民への周知を！ 大きなインパクトの可能性を持つ取り組みで、いかに継続性のある取組、市民とも関わりのある取り組みとしていただきたい。これからの正念場です。 会員数が165人（目標1000人）と少なかった。長い目で見ることが必要がある。 素晴らしいアイデアだと思います。他に佐藤姓のルーツを名乗る市町が出てこないか心配です。 佐藤さんの受け入れ態勢がどういったものになるのか、イメージできませんが、人が流入することに繋がればよいと思います。 氏名や家系のルーツが見直されている中、タイムリーな事業であると思われます。 あとは藤原秀郷や佐野の歴史と組み合わせることで、もっと注目を集められるようなイベントを開催してほしい。 大いに期待したい。 スタートがコロナ禍でつまづいた感があるが、これからです！今後、広がりを持つことを期待したい。 諸説あるものかと思いますが、佐藤さんのルーツとして、訪問が期待できると思う。 今後の広がり期待。非常に面白い取り組みだと思います。 今後、どのように展開していくかが楽しみです。これからの事業として期待しています。 目玉となる佐藤さんが必要です。 始まったばかりのプロジェクトのため、実績はこれからだが、たくさんの人やモノ、ことを巻き込むことが大きな期待と広がりを感じた。 </p>		

地方創生推進交付金事業 実績シート④

※参考

事業名	ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進事業（市：ツール・ド・とちぎ参画事業）							
担当課	スポーツ立市推進課	事業実施年度	令和元年度	佐野市まち・ひと・しごと 創生総合戦略基本目標の該当	安定したしごとをつくる 新しい人の流れをつくる	実施方法	直営	
事業の概要	第4回 ツール・ド・とちぎの開催支援 栃木県と県内全市町の連携事業 国内初の取組となる県内全域を舞台とした国際自転車競技連合公認レース「ツール・ド・とちぎ」の開催を契機に、県と県内全市町が連携した「自転車によるまちづくり」を進め、一層の観光誘客、地域活性化につなげていく。					予算 状況	総事業費（千円）	700
							交付金額（千円）	350
							一般財源（千円）	350
重要業績評価指標 (KPI)	指標名称		令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	達成状況の説明			
	KPI①	(全県)公営レンタサイクル利用者数	60,538	69,429	本市には公営レンタサイクルなし			
	KPI②	ツール・ド・とちぎ公式HP閲覧回数	31.33	26.08				
	KPI③	(全県)外国人宿泊者数	274	247				
	KPI④	(全県)観光消費額	6,530	7,054	フィニッシュ会場でのアンケート、事業費等から算定			
活動状況	[主催] 特定非営利活動法人ツール・ド・とちぎの会 [主管] ツール・ド・とちぎ実行委員会 [大会期間] 令和2年3月20日から3月22日 3日間 佐野市コース設定なし 最後の大会であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため大会中止 ○佐野市の業務 ・大会負担金支払（700千円）、・実行委員会、担当課長会議出席 ・大会周知ポスター掲示			主な効果	・4年にわたり官民連携オールとちぎ体制で実施、自転車先進県とちぎの発信や観光誘客など、とちぎの地方創生に一定の成果			
取組の検証	改善余地の検証	・地方創生推進交付金事業としては、令和元年度で終了。						
	今後の方針について	・栃木県は、本事業レガシーを生かし「自転車先進県とちぎ」を継続発信するため、市町負担金によらないサイクルツーリズム事業を令和3年度に実施する方向で計画。現在のところ、この県事業に積極的参加の予定はないが、必要な協力は行っていく。						